

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	公共施設マネジメントモデル事業(旧三岳小学校)											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費	会計	一般会計	事業コード	810495	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする								
	開始年度	平成30(2018)年度											
	終了予定年度	平成31(2019)年度											
	関連計画等	福知山市公共施設マネジメント計画											
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	廃校となった小学校を活用し、地域に点在する集会施設や消防団詰所等の機能を集約化・複合化することにより、「小さな拠点」づくりを行い、市民協働による効率的で持続可能な地域活動の実現をめざす。						
	対象者	三岳地域住民	対象者数		単位あたりコスト			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	建築住宅課への委任工事						
	事業概要	統廃合により廃校舎となっている三岳小学校(昭和38年建設、平成27年3月廃校)を改修し、1階に市が管理する教育集会所と周辺集落に点在する消防車庫を集約する。また三岳地区の住民で組織する地域運営組織の事務所を新たに整備する。2階には周辺集落に点在する消防詰所を集約し、地域の郷土資料室や子供会の金管部を整備する。なお、整備後の施設運営は市と地域運営組織の管理区分を分けて行う予定である。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
	委託料	校舎改修工事に伴う実施設計業務				2,571		
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			5,400	55,000	
	②補正予算			0		
	③流用額			0		
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			0	0	
	国支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	0	
	その他特財			5,400	55,000	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.5 / 0	0.5 / 0		
⑤概算人件費			4,000	4,000		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)			9,400	59,000		
⑦執行額			2,571			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)			47.6%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公共施設床面積の削減総量	m ²	—	—	0/860	860 / 860	860
							/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業進捗率	%	—	—	50 / 100	/ 100	100
		単位あたりコスト					/	
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	閉校した小学校の跡地活用として、公共施設の集約化・複合化を行うものであり、効率的で持続可能な施設整備を行うもので必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	地域において設置された検討委員会と協議を行うとともに、市内部においてもプロジェクトチームを立ち上げ、効率的な集約化・複合化の内容を検討した。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	5施設(教育集会所、老人施設、会館、消防団詰所2か所)を集約するものであり、将来的な建物更新費、維持管理費の削減を図ることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		地域に複数ある公共施設の集約化・複合化についてエリアマネジメントの観点から地域と行政が協働で方向性の検討を行った。	
今後の課題及び方向性		集約化・複合化が完了した後の施設の管理手法(地元と市での光熱水費の按分方法、支払い方法、日常管理手法等)について、集約後の所管課となる人権推進室を中心に、地元との協議を進める必要がある。また、集約後に不要となる消防団詰所や三岳会館などの解体にむけて、次年度以降の予算確保をする必要がある。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	農政事務管理事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業総務費	会計	一般会計	事業コード	220103	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040403	施策名	人と自然が共生する社会を推進する								
	開始年度	平成18(2006)年度											
	終了予定年度	平成32(2020)年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本事業は、経常経費的的事业であり、積算システムなどの維持管理にかかる経費や課で使用消耗品などの管理、調達に関する費用である。農政課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的な執行ができる。											
	対象者	市内全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	54.6							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等	積算システム修正業務、農地水向上支援システム導入業務について業務委託予定											
	事業概要	農政事務の総括的な運営を行う。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「生産基盤・施設の整備により生産力を高める」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「人と自然が共生する社会を推進する」に変更した。 ※業績指標の変更 平成30年度の機構改革に伴い、業績指標としていた農区長会関係事務を農林業振興課に所管替えしたことから庶務的的事业のみとなったため、業績指標の設定が困難であるので設定しないこととした。											
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)					
		需用費	公用車車検整備 ほか					2,133					
		使用料及び賃借料	デジタル複合機賃借料 ほか					2,087					
		役務費	NTT西日本電話代 ほか					524					
		委託料	農区長会会場設営業務 ほか					376					
旅費ほか	報償費163、旅費202、負担金31、公課費16					412							
関連事業	農政課の所管する全事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	6,548	6,516	5,974	2,897		
	②補正予算			0			
	③流充用額	381	1,244	0			
	④繰越額計	0	0	0	0		
前年度繰越		0	0	0	0		
	次年度繰越		0	0	0		
財源内訳(①④内訳)							
一般財源	6,742	7,563	5,777	2,692			
国支出金	0	0	0	0			
府支出金	0	0	0	0			
地方債	0	0	0	0			
その他特財	187	197	197	205			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	使用料	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	中山間ふるさと水と土保全対策事業基金繰入	種類	基金繰入	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数(正職/嘱託)	/		0.82 / 0.4	0.82 / 0.4		
⑤概算人件費				7,560	7,560		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)				13,534	10,457		
⑦執行額				5,532			
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)				92.6%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
								/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
							/	
		単位あたりコスト					/	
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農政課で共通する経費について、一元的に管理することで、課内で事務が重複することなく執行できる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経常経費的な事務経費を共通に管理することにより、効率的な執行ができる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・農政事務全般を総括する庶務的事業として、目的を果たしている。 ・共通経費の執行にあたり、一元的に管理することで無駄がないように努めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> ・農政課に共通する事務経費であり、経常経費的な事業である。 ・コスト削減や効率化が図れる部分については、見直しに努めている。 	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・農政課に共通する事務経費について、一元的に管理し執行していくことで、効率的な事務執行ができる。 ・庶務的事業のため、業績指標の設定は困難であるため設定しない。 	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課						
	作成責任者	大西 誠樹						
	事業名	農村研修集会施設等管理事業						
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 農業総務費	会計 一般会計	事業コード 220168	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 040403	施策名 人と自然が共生する社会を推進する					
	開始年度	昭和50(1975)						
	終了予定年度	平成32(2020)						
	関連計画等	福知山市公共施設マネジメント計画						
	根拠法令等	福知山市山村基幹集落センター条例 ほか						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	持続可能な農村づくりまた地域コミュニティを形成する拠点施設とするため、地域の農村研修集会施設等の適切な維持管理を図る。						
	対象者	対象施設の近隣住民	対象者数	単位あたりコスト				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	福知山市北陵総合センター運営理事会 ほか						
	事業概要	農村研修集会施設等31施設を適切に維持管理するため必要な施設の点検を行う。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「地域コミュニティ活動を活性化する」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「人と自然が共生する社会を推進する」に変更した。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
	委託料	施設の維持にかかる保守管理業務				4,309		
	需用費	光熱水費、三岳会館駐車場舗装修繕ほか				1,456		
	役務費	建物総合共済基金分担金、電話代、三岳会館駐車場土砂撤去業務ほか				764		
	備品購入費	中六人部会館消火器の購入ほか				5		
	関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	7,241	7,237	7,315	5,368	
	②補正予算		374	0		
	③流充用額	△ 290		103		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	6,484	7,106	6,843	3,975	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	467	505	575	1,393	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.69/0	0.61 / 0.1	0.32 / 0.05	0.32 / 0.05	
⑤概算人件費		5,520	5,130	2,685	2,685	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		12,471	12,741	10,103	8,053	
⑦執行額		6,887	7,564	6,534		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		99.1%	99.4%	88.1%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		稼働施設数	施設	31/31	31/31	/31	/	17
			0	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		管理施設数	施設	31 / 31	31 / 31	/ 31	/	17
			単位あたりコスト	222.2	244.0	0.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農水省補助金により建設した研修集会施設は、地域のコミュニティ活動等の拠点施設として活用されており、適切な維持管理を行うために市が取り組む必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・施設を維持していく上で必要最低限の修繕料等を計上しているものであり、妥当な水準である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・地域住民が主体的に行う活動の拠点施設として、地域の活性化、都市農村交流等への役割を果たしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の点検や修繕を適宜実施することにより適切な維持管理を図り、地域のコミュニティ活動等の拠点としての役割を果たしている。	
今後の課題及び方向性		公共施設マネジメント実施計画に基づき、各施設とも一定の改修や修繕また土地整理をもって、地縁団体に無償譲渡していく予定であるが、直営施設等については今後も計画的に修繕等を実施することにより、施設の適正な維持管理を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業総務費	会計	一般会計	事業コード	220199	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする								
	開始年度	平成27(2015)年度											
	終了予定年度	平成36(2024)年度											
	関連計画等	福知山市公共施設マネジメント計画											
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大きく変貌する社会環境に適応し、将来にわたって暮らしやすく安心・安全なまちづくりを進めるため、中長期的展望に立ち、効率性の高い行政経営の確立を目的とする。					
	対象者	対象施設地区住民	対象者数	単位あたりコスト			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会					
	事業概要	公共施設マネジメント実施計画に基づき、農村研修集会施設を地元等に譲渡若しくは、不要となった施設の統合・廃止を行う。 譲渡を前提とした土地整理や建物調査、登記等を行う。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「時代のニーズに即応した行政経営の推進をする」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「人と自然が共生する社会を推進する」に変更した。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		委託料	公共嘱託登記業務			983	
	関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	1,500	1,000	8,480	
	②補正予算			0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況 (財源内訳①④内訳)	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	1,500	1,000	8,480	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0/0	0.33 / 0.1	1.25 / 0.05	1.25 / 0.05		
⑤概算人件費	0	2,890	10,125	10,125		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	0	4,390	11,125	18,605		
⑦執行額	0	759	983			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	0.0%	50.6%	98.3%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		譲渡等完了施設数	施設	/	/	0 / 14	1 / 14	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	調査施設数	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			施設	/	2 / 14	14 / 14	/	14
		単位あたりコスト		0.0	379.5	70.2		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民ニーズの変化による公共施設の必要性を整理することにより、現在及び将来にわたって財政負担の軽減を図ることができ、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・福知山市公共施設マネジメント計画により、市域全体の公共施設を整理することで、各部署による差異を無くし、効果的、効率的に事業の実施を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・公共施設の必要性を整理し、公共施設の更新問題等、将来的に生じる財政負担の軽減を図るため、有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	実施計画において短期計画の目標としている14施設全て地元の意向調査を行った。11施設は譲渡を受けられる意向を示され、2施設は保留、1施設は用途廃止であった。保留とされた2施設について、譲渡若しくは用途廃止どちらかの意向確認を進める必要がある。		
今後の課題及び方向性	地元へ施設を譲渡するには地元が認可地縁団体を設立する必要がある。また、施設修繕に係る実施設計や修繕工事の予算化が必要であり、かつ建築住宅課へ委任を行うため、計画的に事業を実施する必要がある。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課					
	作成責任者	大西 誠樹					
	事業名	大呂自然休養村管理事業					
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 農業総務費	会計 一般会計	事業コード 220211	決算付属資料
	施策体系	施策コード 060301	施策名	観光客の増加を促進する			
	開始年度	平成18(2006)年度					
	終了予定年度	平成34(2022)年度					
	関連計画等						
	根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。					
	対象者					対象者数	単位あたりコスト
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	株式会社丹波悠遊の森協会					
	事業概要	指定管理者による管理運営によって、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の運営を行う。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「観光施設・交流施設を充実させる」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「観光客の増加を促進する」に変更した。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		委託料	福知山市大呂自然休養村センター指定管理料			16,000	
役員費		建物総合共済基金分担金			87		
需用費		備品等修繕料			30		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	8,949	20,932	17,088	14,365	
	②補正予算			61	0	
	③流充用額	4,546	△ 1,412	30	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	13,370	9,128	17,059	14,222	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	4,000	0	0	
	その他特財	125	6,392	120	143	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	1.65/0.1	1.36 / 0	0.14 / 0	0.14 / 0	
⑤概算人件費		13,450	10,880		1,120	
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		26,945	30,400	17,179	15,485	
⑦執行額		11,482	16,117	16,117		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		85.1%	82.6%	93.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	0 / 1030	0 / 0	/ 1600	/	1840
		上記以外の施設利用者数	人	/	/	/ 11400	/	15000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設開館日数	日	182 / 311	311 / 311	/ 311	/	311
		単位あたりコスト		63.1	51.8	0.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る施設であり民間の能力を活用しつつ、サービスの向上、経費の削減等を図るため、指定管理施設として市が取り組む必要性が高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・指定管理制度を取り入れ、民間ノウハウによる施設利用者の増進やコスト削減を行い、市の直営では非効率となる施設運営の合理化を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・老朽化のため建替えた宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と併せ施設利用者の増進を図り、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>・平成30年度は、榊丹波悠遊の森協会が指定管理者として施設を管理運営する1年目であったが、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の運営を行い、市外の団体であるが地域と協調した施設運営を行った。</p> <p>・平成30年度は繁忙期となる7月初旬に大きな災害を受けたことも影響し、宿泊利用者数は目標の1600人に達することができなかったが、宿泊者の約7割が府外からの利用者であり、目的達成の一定評価はできる。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>・平成30年度から平成34年度までの5年間は、新たな指定管理者として榊丹波悠遊の森協会を指定管理者に指定し、現在指定管理者による施設運営を行っている。課題としては、市外の団体が指定管理者であることから、地域に根ざした運営が行われるかということが危惧されるが、現在のところうまく運営されている。方向性としては、この5年間で大呂自然休養村センターの運営基盤を確立され、安定した経営が図られることとしている。</p>	

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	所見
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p>方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	内容
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	こぶし荘管理事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業総務費	会計	一般会計	事業コード	220212	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	昭和55(1980)年度											
	終了予定年度	平成32(2020)年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	福知山市こぶし荘条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流促進及び地域振興を図る。				
	対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	634	単位あたりコスト	17.3
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	平成30年7月豪雨により被災、休館したこぶし荘の保守管理を行い、復旧方法・今後のあり方について関連部局・地域住民と協議する。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「観光施設・交流施設を充実させる」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「観光客の増加を促進する」に変更した。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)
		補償、補填及び賠償金	指定の取り消しにかかる補償金			3,390
委託料		指定管理料(3四半期分)、浄化槽維持管理業務(キャンプ場分)			1,838	
賃金		臨時職員賃金			322	
役務費		建物総合共済基金分担金			13	
関連事業	農村研修集会施設等管理事業／北陵総合センター災害復旧事業					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
①当初	2,241	2,619	3,033	611	
②補正予算			3,673		
③流充用額	942	2,114	△ 132		
④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越		0	0	0	
次年度繰越		0	0	0	
財源内訳(①③④内訳)					
一般財源	3,183	4,733	6,574	606	
国支出金	0	0	0	0	
府支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他特財	0	0	0	5	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.32/0	0.43 / 0	0.55 / 0	0.55 / 0	
⑤概算人件費	2,560	3,440	4,400	4,400	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	5,743	8,173	10,974	5,011	
⑦執行額	3,183	4,095	5,563		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	86.5%	84.6%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設利用者数	人	8337/8800	8103/9000	1673 / 9200	/	9400
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	施設開館日数	日	359 / 359	359 / 359	97 / 359	/	359	
	単位あたりコスト		8.9	11.4	57.4			
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	地域コミュニティの基幹施設としては十分に機能を果たしているが、宿泊機能を伴う事業を行政で実施することについては、必要性が高いとはいえない。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	×	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	宿泊機能を伴う指定管理施設の運営コストとしては、妥当な水準にあるが、地域公民館部分を含む施設全体については、複数の担当課、事業、条令が混在し、効率的とはいいがたい。休止施設の復旧、今後のあり方について、包括的な議論が必要である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	本地域が積極的に取り組んでいる色々な地域再生、活性化事業の拠点施設としての役割を果たしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成30年7月豪雨により施設建物裏の法面が崩落し、グラウンド以外の施設が使用できなくなったため、平成30年12月31日を持って指定管理者の指定を取り消した。 繁忙期に入る前に被災、休館したため、平成30年度の実績は非常に低くなっている。 支出が増大しているのは、指定を取り消した指定管理者に対し、不可抗力(豪雨災害)により指定を取り消されたことに対する補償を行ったため。	
今後の課題及び方向性		現在は、災害復旧事業において崩落した法面の復旧方法の検討が行われており、平成31年度以降、施設の今後のあり方について、関連部局・地域住民とともに検討していく。 宿泊施設としての機能は廃止されることが大筋で決定しているため、併設する山村基幹集落センター(農村研修集会施設等管理事業)内に所在する北陵地域公民館の施設として中央公民館へ所管替えし、本事業は廃止することも検討する。 関連部局:教育委員会(中央公民館)、資産活用課、まちづくり推進課	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額への反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

一次評価(担当課による自己評価)

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課					
	作成責任者	大西 誠樹					
	事業名	里の駅みたく管理事業					
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 農業総務費	会計 一般会計	事業コード 220311	決算付属資料
	施策体系	施策コード 060104	施策名 農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する				
	開始年度	平成18(2006)年					
	終了予定年度	平成32(2020)年					
	関連計画等						
	根拠法令等	福知山市里の駅みたく条例					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境に育まれた地域資源を活用し、高齢者がいきいきとした活動をし、持続的な地域コミュニティの形成や地域の活性化を図る。					
	対象者	三岳地域住民	対象者数	529	単位あたりコスト	3.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	三岳高齢者活動促進施設運営委員会					
	事業概要	豊かな自然環境に育まれた地域資源を活用し、高齢者がいきいきとした活動をし、持続的な地域コミュニティの形成や地域の活性化を図る。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「地域コミュニティ活動を活性化する」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する」に変更した。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費				0	
役務費		建物総合共済基金分担金			10		
委託料		福知山市里の駅みたく指定管理料			392		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当 予算	①当初	403	582	453	601	
	②補正予算			0		
	③流充用額	12	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の 状況	財源内訳(①③④内訳)	415	582	453	601	
	一般財源					
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.31/0	0.29 / 0	0.14 / 0	0.14 / 0		
⑤概算人件費	2,480	2,320	1,120	1,120		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	2,895	2,902	1,573	1,721		
⑦執行額	414	552	402	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99.8%	94.8%	88.7%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設利用者	人	16700/21000	14425/21000	11152/21000	/	21000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	施設開館日数	日	310 / 311	311 / 311	313 / 311	/	311	
	単位あたりコスト		1.3	1.8	0.0			
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	三岳地域の高齢者がいきいきとした活動を支援する施設であり、指定管理施設として市が取り組む必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	施設の維持管理に必要な最低限の予算で施設運営に取り組んでいるため、コスト削減は厳しい現状である。平成32年3月末をもって指定管理期間が満了となるため、より効率的な運営方法について検討する必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	新鮮な地場野菜、加工品や地域の特産品を販売することにより、農産物生産意欲の向上と地元高齢者の雇用に大きな役割を担っている。しかし、施設利用者数や売上は年々減少しており、成果目標の達成には至っていない。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>周辺の高速道路等の整備により、施設前面の国道の通行量が減少しており、施設利用者や売上が減少傾向にある。一方で、施設の経年劣化が進み、指定管理者では賄うことができない規模の施設修繕の機会も増えている。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>三岳地域の高齢化対策や更なる地産地消の推進等、新たな施策の積極的な事業展開に対応できる財源の確保が課題である。</p> <p>平成31年度をもって、現在の指定管理者の指定期間が満了するため、以降の施設のあり方や管理方法について地元と協議する必要がある。指定管理者である三岳高齢者活動促進施設運営委員会は、地域の高齢者約20人で構成される組織であるが、従業員の平均年齢が75歳を過ぎようとしている現在、今後新たに5年間の指定管理契約を続けるのは困難な状況であると考えられる。施設を利用して取り組まれている「見守り弁当」については、売上も好調で地域としても存続させたい想いがあり、また三岳小学校が閉校となった中で施設が地域の高齢者にとって拠り所となっている背景も踏まえて、地域の負担軽減を図りつつ施設を存続させる最善策を模索する必要がある。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	市単独農業基盤整備事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210108	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	福知山市単独農業基盤整備事業補助金交付要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	基幹産業である農業の体質強化のため、老朽施設の更新や農作業道など農業インフラ環境を整え、生産・流通基盤の充実を図るとともに、計画的な産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。					
	対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	2.6	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	各農区					
	事業概要	国・府補助対象外の農業用施設の更新や維持修繕に対して、地元農区等が実施する事業費の1/2以内の補助を行うことで、施設の機能回復と維持管理労力の節減を図る。 平成30年度をもって事業廃止とし、農業用施設の更新や長寿命化にかかる要望があった場合は多面的機能支払交付金等の事業により対応していただく。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		負担金補助及び交付金	応急に対応すべき施設修繕に対する補助			0	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,600	1,600	400	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	800	1,600	400	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	800	0	0	0	
地方債	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.08/0	0.09 / 0	0.03 / 0	0.03 / 0		
⑤概算人件費	640	720	240	240		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	2,240	2,320	640	240		
⑦執行額	990	1,058	0	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	61.9%	66.1%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		更新施設数	箇所	4/7	5/10	0/1	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	実施農区	箇所	4/7	5/10	0/1	/	-	
	単位あたりコスト		247.5	211.6	0.0			
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国・府補助を受けない農業用施設の更新や維持修繕を実施する地元受益団体からの要望は多く必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	各施設の長寿命化を図るため、農業用施設の更新や修繕を行っており効率性は高い。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	過疎高齢化で後継者不足の中、施設の更新や維持管理の費用を補助することは地元負担の軽減となり、農業放棄を食い止める施策であり有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成30年度については、応急的に復旧の必要が生じた施設（取水時期における揚水機の突発的な故障等）に対する補助として予算計上していた。しかし、平成30年7月豪雨災害等により市内全域が被災しており、喫緊の復旧要望は災害復旧事業として要望されたため、実績としては0円となった。	
今後の課題及び方向性		平成30年度において農業用施設の更新等の要望があったものについては、その全てに対して事業規模の縮小と多面的機能支払交付金等にて対応する旨を伝えており、十分な伝達期間を設けることができたため、平成31年度より事業廃止とする。H31年度以降に長寿命化等の要望があった場合は、国庫補助を利用した大規模改修や多面的等支払交付金による更新等を案内していく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	水土里ネット京都関連事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210109	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	京都府土地改良事業団体連合会定款											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府土地改良事業団体連合会事業)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市の農業基盤整備を実施するにあたり、京都府土地改良事業団体連合会(土連)と連携して、地元農区等の営農組織に対して事業を推進することで農業経営の効率化と円滑化を図る。										
	対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	31.8						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	京都府土地改良事業団体連合会										
	事業概要	本市が加入する京都府土地改良事業団体連合会から交付金を受けて、農業用施設の更新及び改修を行い、施設の適正な維持管理と長寿命化を図る。 また、京都府土地改良事業団体連合会に対して賦課金を支払うことにより、農業用施設の更新にかかる診断等の技術支援を受ける。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		負担金補助及び交付金	土地改良施設維持適正化事業賦課金 他					4,405				
-												
関連事業	-											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			4,656	13,749	
	②補正予算			0		
	③流充用額			0		
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			1,841	3,554	
	国支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	0	
	その他特財			2,815	10,195	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.28 / 0.4	0.28 / 0.4		
⑤概算人件費			3,240	3,240		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)			7,896	16,989		
⑦執行額			4,405	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)			94.6%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		更新施設数	箇所	2/2	2/2	0/0	/	-
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業加入施設数	箇所	3/2	2/2	2/2	/	-
		単位あたりコスト		4,252.7	5,511.5	2,202.5	/	
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	設置、改良等から20年以上経過した施設が多く、揚水機、水路などの施設の維持管理の要望は高いため、事業を実施していく必要がある。 また、京都府土地改良事業団体連合会の定款により定められた義務的経費であるため、継続して支出する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	農業用施設にかかる専門知識が豊富な京都府土地改良事業団体連合会に対して、定款に定められた義務的経費を支払うことにより専門的な施設診断を無償で受けることができ、施設の更新計画を迅速に決定することができるため、効率性が高い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	本事業は、施設全体を改修するのではなく、改修の必要な箇所だけを実施していく事業であり、施設全体の長寿命化を行うなど、経済性に優れた事業である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	老朽化した農業用施設の改修を行い長寿命化を図ることで、意欲ある農業者を支援し地域の農業振興を図ることができた。		
	今後の課題及び方向性	過疎化及び高齢化に伴う担い手不足の深刻化により地域として受益者負担金の捻出が困難となるなか、当該事業についてはその受益者負担金について5年に等分して支出することとなり、1年当たりの負担額が軽減されるため、事業として継続し、営農活動の支援を行う。		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	府営ため池整備事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210114	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成26年度											
	終了予定年度	平成31年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊富用水池は造成後70年が経過し、府営事業による施設診断において改修・改良が必要という結果が出たため、府営によるため池整備事業を実施し、適正な水利管理と住民の安心・安全の確保を図る。					
	対象者	豊富用水池受益者	対象者数	752	単位あたりコスト	4.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)					
	委託先・実施主体等	京都府					
	事業概要	豊富用水池において、府営事業により取水施設等の改良を行うことで、農業者の水利確保及び治水機能を高める。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	負担金補助及び交付金	府営事業による底樋管改修工事にかかる市負担金			1,630		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	14,200	2,000	1,630	5,000	
	②補正予算			0		
	③流充用額	1,300	3,500	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	800	200	230	500	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	14,700	5,300	1,400	4,500	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.05/0	0.07 / 0	0.17 / 0	0.17 / 0	
⑤概算人件費		400	560	1,360	1,360	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		15,900	6,060	2,990	6,360	
⑦執行額		14,900	5,500	1,630		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		96.1%	100.0%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業進捗率	%	59/100	78/100	84/100	/	100
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		整備箇所数	箇所	1/1	1/1	1/1	/	1
		単位あたりコスト		14900.0	5500.0	0.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	当該ため池は造成後70年以上が経過しており、堤体や取水施設等の老朽化が顕著になっている。大規模な改修工事の実施により、農業者の水利確保のみならず治水機能の向上を図ることができるため、必要性は高い。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○		当該ため池にかかる施設診断についても府営事業により実施されたため、引き続き府営事業によりため池改修工事を実施することで、効率的に施工管理を行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○		危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、治水施設として地域全体を守るべき施設であるため、有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○		
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	年次計画に基づき工事が施工されており、計画通りに負担金を支出した。			
	今後の課題及び方向性	平成31年度完成予定であるため、年次計画に沿った工事完成を目指し、適正な水利管理と下流域の住民の安心安全を図る。			

		所見
庁内及び外部による評価 (行革担当課記入)	二次評価 (庁内評価)	

		所見
三次評価 (外部評価)	三次評価 (外部評価)	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	農業施設維持修繕事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210117	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成10年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	基幹産業である農業の体質強化のため、老朽施設の更新や農作業道など農業インフラ環境を整え、生産・流通基盤の充実を図るとともに、計画的な産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。					
	対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	36.4	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	セイリョウ建設㈱、キョウギ建設㈱					
	事業概要	地域農業の振興を図るために、地元に対して砕石及び真砂土を提供することで、未舗装農道の修繕や維持管理の軽減を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	砕石及び真砂土の提供			126	
役務費		平成30年7月豪雨災害による被災箇所の応急復旧対応業務			399		
委託料		平成30年7月豪雨災害による被災箇所の応急復旧対応業務 他			7,452		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	950	950	650	500	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	1,113	7,410		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	950	2,063	8,060	500	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.04/0	0.12 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0		
⑤概算人件費	320	960	960	960		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,270	3,023	9,020	1,460		
⑦執行額	545	1,737	7,977			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	57.4%	84.2%	99.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		整備箇所	箇所	19/25	15/25	6/25	/	-
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		資材配布箇所	箇所	19/25	15/25	6/25	/	-
		単位あたりコスト		28.7	115.8	1329.5		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	各地域で維持管理されている未舗装農道において、今年度は激甚災害等の影響により農道自体の復旧に迫られた。しかし、今後経年または豪雨等によるわだち掘れにより通行に支障を来し、農産物の輸送等にも影響がでるおそれがあるため、事業として継続していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	碎石等の購入単価については他課の契約単価を準用しており、また配付後の敷設については地元が実施するため、効率性は高い。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	各地域において担い手不足とされる中、農道の維持管理への碎石支給は地元負担の軽減と営農放棄を食い止める施策であり、今後とも実施していく必要があるため有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		今年度においては豪雨災害が多数発生しており、農道自体の災害復旧が必要となったため碎石等の配付要望が少なくなった。	
今後の課題及び方向性		地元としては金銭的な負担を伴わずに農道の補修を実施できるが、舗装農道に比べて道の痛みが早く、補修頻度が高くなる可能性があるため、要望団体に対して国庫補助を活用した別事業による農道舗装工事を案内する。別事業の要件を満たさないものについては、引き続き碎石等の配付を実施する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	府営綾部用水整備事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210142	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成26年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	農業水路長寿命化・防災減災事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市の農業基盤整備を実施するにあたり、京都府との連携の下、事業を進捗することで市の農業行政を充実させることを目的とする。					
	対象者	綾部用水受益者	対象者数	67	単位あたりコスト	31.7	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)					
	委託先・実施主体等	京都府					
	事業概要	平成26年度から30年度にかけて綾部地内から福知山市戸田地内までの「綾部用水」に係る整備を府営事業により実施するため、負担金を支出する。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	負担金補助及び交付金	綾部用水工事負担金			1,099		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,175	1,827	1,566	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	275	227	166	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	1,900	1,600	1,400	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.03/0	0.07 / 0	0.07 / 0	0.07 / 0		
⑤概算人件費	240	560	560	560		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,415	2,387	2,126	560		
⑦執行額	1,827	1,624	1,099	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	84.0%	88.9%	70.2%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	事業進捗率	%		43/100	74/100	100/100	/	100
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	整備箇所数	箇所		4/7	5/7	7/7	/	7
		単位あたりコスト		456.8	324.8	157.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	老朽化した水路を改修することにより、安定した農業用水の確保に繋がるため、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	当該水路は綾部市から福知山市に渡って敷設されており、福知山市のみならず綾部市内の施工箇所についても逐一進捗を把握する必要があるため、府営事業により実施することで効率的かつ包括的に管理することができる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	安定した農業用水を確保することにより、営農放棄を食い止めることとなり、今後とも実施していく必要があり、有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		年次計画に基づき工事が完了しており、計画通りに負担金を支出した。	
今後の課題及び方向性		平成30年度を持って事業完了となった。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	ため池等農地災害危機管理対策事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210169	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成25年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	近年、自然災害が激甚化し、農業水利施設が被災し農用地のみならず地域住民への被害が頻発するなか、効果的な防災・減災対策を講じ、農業生産の維持や農業経営の安定化及び地域住民の安心・安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを推進する。					
	対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	211.3	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	サンスイコンサルタント株式会社福知山事務所 他					
	事業概要	農業用ため池において、ため池の防災強化により老朽化したため池の改修計画策定及び環境調査並びに測量設計を行い、改修工事を実施する。また、防災重点ため池ハザードマップを作成し、地域住民に対してワークショップを実施することで、ため池の位置や災害時の避難経路を周知し、地域住民の安心安全の確保を図る。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	旅費	京都出張(農業農村整備事業にかかる意見交換会)			7		
	工事請負費	袋池改修工事			9,205		
	関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	3,500	27,500	33,500	26,100	
	②補正予算			10,000		
	③流充用額	5,228	40,850	9,205		
	④繰越額計	0	△ 40,000	△ 3,500	43,500	
前年度繰越		0	40,000	43,500		
	次年度繰越		△ 40,000	△ 43,500		
財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	1,728	△ 350	11,805	43,950	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	7,000	25,500	32,000	24,250	
	地方債	0	2,700	5,400	900	
	その他特財	0	500	0	500	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
予算と執行の状況	従事職員数 (正職/嘱託)	0.35/0	0.43 / 0	0.4 / 0	0.4 / 0	
	⑤概算人件費	2,800	3,440	3,200	3,200	
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	11,528	31,790	52,405	72,800	
	⑦執行額	8,728	28,350	9,212		
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	18.7%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ため池ハザードマップ周知地域数	地域	15/64	20/64	20/64	/	64
			0	/	/	/	0	
業績指標	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ため池ハザードマップ作成箇所数	箇所	15/64	20/64	20/64	/	64
			単位あたりコスト	581.9	1417.5	0.0		
		ため池ハザードマップ作成箇所数	箇所	10/10	5/5	0/28	/	0
		単位あたりコスト	872.8	5670.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	危険なため池への改修要望は高く、平成30年度実施予定であった28池のうち半分以上が被害想定人数30人以上であるため、安心・安全の確保のためにも事業を実施していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	ハザードマップ作成の対象となるため池について下流域住民が多くなる中、地元負担を伴わずに専門家による避難経路を設定し、各自治会内で危機管理意識を共有することができるため、受益者との負担関係について妥当な水準である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、治水施設として地域全体で守るべき施設であるため、有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成30年7月豪雨災害により、全国において農業用ため池の被災が見られた。これを受けて緊急的に実施した農業用ため池の被災状況調査に期間を要したため、年度内で事業を完了することができなかった。	
今後の課題及び方向性		地域の安全安心を確保するためにも、計画に基づき段階的に改修を行う必要がある。改修を必要としないが、防災重点ため池と位置づけられているため池においてはハザードマップを作成し、地元にとりため池の危険性及び避難等に活用をしてもらうよう周知を行うことで、危機管理意識を共有する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	府営川北地区ほ場整備事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210173	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成26年度											
	終了予定年度	平成33年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	農業競争力強化基盤整備事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進、また担い手育成の環境整備等を図るため、農業の経営基盤及び生産基盤を強化する。										
	対象者	川北地域づくり委員会、地権者	対象者数	111	単位あたりコスト	287.1						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)										
	委託先・実施主体等	京都府、京都府土地改良事業団体連合会										
	事業概要	川北地区において、平坦地であるが「ほ場」が未整備であり、里道水路も狭隘で農業経営の集約化が困難な耕作条件の下、近年の豪雨災害時にも冠水被害を被り易い地形条件であるため、由良川築堤事業の実施に際し、関連する河川や市道の整備と一体的に大区画ほ場整備事業を導入し、集約化が可能な生産基盤の整備と併せて経営体の育成を行い、農用地の利用集積による高度利用の条件整備を実施する。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)					
		報償費	地元委員により行われた、換地業務にかかる協議・調査等に対する報酬				745					
委託料		川北地区換地業務				3,715						
負担金補助及び交付金		府営事業により実施する川北地区の面的整備にかかる市負担金				13,500						
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	12,735	23,250	14,425	
	②補正予算			12,375		
	③流充当額			△ 9,318		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越		0	0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
財源内訳 (①④内訳)	一般財源	0	850	8,847	375	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	4,460	4,300	
	地方債	0	7,100	4,000	3,000	
	その他特財	0	15,900	9,000	6,750	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0	0.43 / 0	0.57 / 0.4	0.57 / 0.4		
⑤概算人件費	0	3,440	5,560	5,560		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	27,290	31,867	19,985		
⑦執行額	0	23,850	17,960			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	100.0%	68.3%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		担い手農地集積率	%	0/0	0/50	0/50	/	50
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	整備率	%	0/0	28/100	44/100	/	100	
	単位あたりコスト		0.0	851.8	1122.5			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	0	
単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	当該事業は、由良川の築堤や関連府河川整備といった災害対策事業に併せて、府営事業により実施することで、効率的に災害に強いほ場整備を実施することができ、効率的な農業経営を図ることができるため、必要性は高い。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○		府営事業により実施することで、市及び地元の負担額を軽減することができ、また関連事業である府管理河川の改修工事等とも効率的に連携をとることができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△		営農担い手不足とされる中、大区画ほ場の整備をすることで農作業の効率化及び生産性の向上を図ることで、地元の負担を軽減することができ、安定的な農業経営を行うことができるため有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	府営事業において、年次計画に基づき換地業務や面的整備が実施された。			
	今後の課題及び方向性	担い手農地利用集約率を50%以上とするため、地元の営農法人の設立及び担い手の確保が必要である。 年次計画に基づいた事業の実施だけでなく、地元営農法人の設立についても支援していくことで、ほ場整備完了後の円滑な営農再開を目指す。			

		所見
庁内及び外部による評価 (行革担当課記入)	二次評価 (庁内評価)	

		所見
三次評価 (外部評価)	三次評価 (外部評価)	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	農地耕作条件改善事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	210194	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成29年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	農地耕作条件改善事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進また担い手育成の環境整備等を図るため、農業の経営基盤及び生産基盤を強化する。					
	対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	40.3	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	塩見測量設計㈱ ほか					
	事業概要	農業基盤の基礎となる農道の路面改良や老朽化した揚水機を更新することで、草刈、わだち等の改良作業の労力を軽減し、作業効率の向上、農作物の生産性の向上を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	リサイクルトナー等の購入			54	
委託料		土地区土質調査業務			529		
工事請負費		土地区農道舗装工事 ほか			5,519		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当 予算	①当初	0	17,450	8,200	30,100	
	②補正予算			12,540		
	③流充用額	0	4,850	0		
	④繰越額計	0	0	△ 14,588	14,588	
	前年度繰越		0	0	14,588	
	次年度繰越		0	△ 14,588		
	財源内訳 (①③④内訳)					
一般財源	0	2,440	314	15,688		
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	0	12,700	3,342	18,000		
地方債	0	5,000	1,800	8,600		
その他特財	0	2,160	696	2,400		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.0/0	0.49 / 0	0.48 / 0	0.48 / 0		
⑤概算人件費	0	3,920	3,840	3,840		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	26,220	9,992	48,528		
⑦執行額	0	22,043	6,102			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	98.8%	99.2%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		整備延長	m	/	/	1,032.8/2,377.4	1,707.4/2,377.4	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	実施地区数	箇所	/	2/2	2/2	/	2	
	単位あたりコスト		-	11021.5	3051.0	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/	0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	設置、改良等から20年以上経過した施設が多く、揚水機、水路などの施設の維持管理の要望は高いため、事業を実施していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	当該事業については地元負担率が一般地域と過疎地域で異なり、ひとり当たりの負担額が地域の実情に合わせたものとなっている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	営農活動に必要な農業用施設の更新及び改修は欠かせないものであり、各地域において担い手不足が深刻な問題となる中において、農作業効率の回復を図ることは、地元にとって有効性が高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	三和町千束地区においては農道舗装工事が完了し、土地区においても次年度完了予定である。		
今後の課題及び方向性	当該事業は平成29年度から開始した事業であるため、農区長会等において案内しながら、地元積極的に利用していただく。事業を継続することで営農活動にかかる環境整備を実施していくが、過疎化等に伴う後継者の減少や地域力の低下が進み、一括での負担金の支出が困難な状況となっている。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	農村地域防災減災事業											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農地費	会計	一般会計	事業コード	550161	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成31年度											
	関連計画等	由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策											
	根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月災害に伴い、由良川治水対策協議会が国、府、市連携で立ち上げられ、その計画に基づき、法川及び弘法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与する改修を実施することにより、下流域の住民の安心安全な生活を確保することを目的とする。										
	対象者	全市民	対象者数	78,612	単位あたりコスト	0.6						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)										
	委託先・実施主体等	京都府、メイコー建設(株)、(株)日建技術コンサルタント										
	事業概要	弘法川及び法川流域の農業用ため池6池について、府営事業により堤体や取水施設等を整備することで洪水調整機能を付与することができ、農業者の水利確保のみならず治水機能を高める。 ※施策名の変更 平成29年度 決算成果説明書では「生産基盤・施設の整備により生産力を高める」としていたが、平成31年度予算要求書に合わせるため「治山・治水対策を強化する」に変更した。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		委託料	法川・弘法川流域調整池等総容量調査検討業務					2,266				
工事請負費		釜戸池浚渫工事					3,197					
負担金補助及び交付金		福知山(その1)、福知山(その2)改修工事にかかる負担金					30,309					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	①当初	48,000	21,470	30,087	22,638		
	②補正予算			0			
	③流充用額	112	12,650	0			
	④繰越額計	0	△ 15,719	15,719	0		
	前年度繰越		0	15,719	0		
	次年度繰越		△ 15,719	0			
	財源内訳(①③④内訳)						
	一般財源	112	401	15,419	0		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	48,000	0	0	0		
	地方債	0	18,000	28,800	21,500		
	その他特財	0	0	1,587	1,138		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.56/0	0.47 / 0	0.38 / 0	0.38 / 0		
⑤概算人件費		4,480	3,760	3,040	3,040		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		52,592	22,161	48,846	25,678		
⑦執行額		48,112	18,401	35,772			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	100.0%	78.1%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		整備完了箇所数	箇所	0/6	0/6	3/6	/	6
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		整備実施箇所数	箇所	6/6	6/6	6/6	/	6
		単位あたりコスト		8018.7	3066.8	0.0	/	0
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成26年8月豪雨により床上及び床下浸水で3,000件以上の被害がでており、農業用ため池のみならず、河川改修や排水機場の整備など包括的な改修が必要であるため、優先度は高い。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○		当該事業によるため池改修工事は、由良川流域における総合的な治水対策において市管理河川の改修や排水機場の整備など一体的な工事が必要とされるため、受益者負担を伴わないものとなっている。 また、ため池容量調査については、道路河川課と一体となって業務を進めるため効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○		市民の安心安全な生活を確保するためにも必要な事業であり、対象となる農業用ため池に洪水調整機能を付与することにより、下流域の住民の安心安全を図ることができるため、有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	府営事業において年次計画に基づき、設計業務及び工事が実施された。 また、市事業として弘法川及び法川流域のため池改修にむけて容量確保の調査を行うとともに、対象となるため池の土砂浚渫工事を行った。			
	今後の課題及び方向性	事業期間は平成28年度から31年度であり、府営事業にたいし負担金を支出し、年次計画に沿った工事完成をめざす。			

庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	所見	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	農地・農業用施設災害復旧事業											
	会計情報	款	災害復旧費	項	農林施設等災害復旧費	目	農林施設等災害復旧	会計	一般会計	事業コード	210183	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める								
	開始年度	平成25年度											
	終了予定年度	平成31年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 他											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豪雨、暴風、地震その他の異常な自然現象により激甚災害を受けた農地及び農業用施設について復旧を行い、農業生産の維持を図ることで、農業経営の安定化に寄与するとともに、遊休荒廃農地化を未然に防止する。					
	対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	1,411.4	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	京都府土地改良事業団体連合会 他					
	事業概要	激甚被災した農地及び農業用施設について、早期の測量や設計業務を行い、国の査定を経て復旧工事を実施する。また、小規模な被災箇所については地元が行う復旧工事に補助金を交付し、農地及び農業用施設の機能回復を支援する					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		工事請負費	長尾地区ほか災害復旧工事 ほか			58,819	
委託料		農地・農業用施設災害復旧測量設計業務			165,062		
負担金補助及び交付金		農地・農業用施設市単独災害復旧事業補助金			43,945		
備品購入費		庁内LAN端末の購入			369		
需用費ほか	リサイクルトナー購入、自動車借上料、臨時職員賃金 ほか			1,780			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	140,000	0	0	80,000	
	②補正予算			630,440		
	③流充用額	△ 29,240	211,829	△ 1,172		
	④繰越額計	315,022	△ 136,779	△ 299,399	438,178	
前年度繰越		2,000	138,779	438,178		
	次年度繰越		△ 138,779	△ 438,178		
財源内訳(①③④内訳)						
一般財源	5,790	△ 173	244,248	441,064		
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	410,189	46,378	296,363	65,180		
地方債	4,900	26,800	△ 216,300	9,100		
その他特財	4,903	2,045	5,558	2,834		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	0.65/0	0.88 / 0.7	2.3 / 0.7	2.3 / 0.7		
⑤概算人件費	5,200	8,790	20,150	20,150		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	430,982	83,840	350,019	538,328		
⑦執行額	411,750	74,184	269,975			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	96.7%	98.8%	81.8%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0		0	0	0	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	復旧箇所数	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			箇所	10/11	132/132	260/260	/	-
		単位あたりコスト		41175.0	1159.1	1038.4		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	災害による被害を受けた農地・農業用施設の復旧要望は大変多く、今後も実施していく必要がある。 国庫補助の有利な財源確保をしており、また近接箇所については併せて発注することにより、入札事務にかかるコストの削減を見込むことができ、効率的である。 過疎高齢化にさらされ、後継者不足の中、遊休農地を増やさないためにも今後も実施していく必要があり有効性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年発生災害において激甚被災した農地及び農業用施設について、国庫補助を受けて復旧することができた。 平成30年発生災害においては、現地調査や設計業務を行い、国庫補助の対象として申請した。 また、小規模な被災箇所については地元が行う復旧工事に補助金を交付することで、農地及び農業用施設の機能回復を図ることができた。		
	今後の課題及び方向性	国・府また地域と連携して、耕作放棄地の拡大や農業意欲の低下をまねかないよう、迅速な農地及び農業用施設の機能回復を図る。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	北陵総合センター災害復旧事業											
	会計情報	款	災害復旧費	項	農林施設等災害復旧費	目	農林施設等災害復旧	会計	一般会計	事業コード	220220	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成30(2018)年度											
	終了予定年度	平成31(2019)年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	福知山市こぶし荘条例、福知山市山村基幹集落センター条例、福知山市公民館条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	■豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流促進及び地域振興を図る。 ■山村地域の産業の振興と当該地域住民の福祉の向上に資する。					
	対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	634	単位あたりコスト	5.7	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	平成30年7月豪雨により北陵総合センターの敷地法面が崩落したことで、建物周辺を含め広範囲にわたり地割れが生じたことから、被害の拡大を抑制するため緊急対策作業を実施するとともに、復旧対策工法の調査・検討を行う。					
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)		
	役員費	緊急対策作業			2,404		
	委託料	災害復旧詳細設計			0		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			0	0	
	②補正予算			12,000		
	③流用額			644		
	④繰越額計			△ 10,240	10,240	
	前年度繰越		0	0	10,240	
	次年度繰越		0	△ 10,240	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			2,404	240	
	国支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	10,000	
	その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.15 / 0	0.15 / 0		
⑤概算人件費			1,200	1,200		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			3,604	11,440		
⑦執行額			2,404			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		設計業務完了箇所数	箇所			0 / 1	/ 1	1
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		設計業務発注箇所数	箇所			1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト					/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	被災した状態では施設を利用することができないため、施設の設置目的を遂行するためにも必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	今後の施設のあり方も検討しながら、復旧対策工法の検討を行う必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	復旧対策工法の調査・検討を行うことで、地域の活動拠点である本施設の復旧を図ることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		建物周辺を含め広範囲にわたり地割れが生じたことから、被害の拡大を抑制するため緊急対策作業を実施し安全性を確保するとともに、復旧対策工法の調査・検討を行っている。	
今後の課題及び方向性		「福知山市指定管理者制度第三者評価委員会 指定管理施設のあり方検討部会」から北陵総合センターの一部施設である「こぶし荘」について宿泊機能の廃止が示されたところである。また、一方では地域の活動拠点であることからその機能の存続について検討する必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	大呂自然休養村センターキャンプ場災害復旧事業											
	会計情報	款	災害復旧費	項	農林施設等災害復旧費	目	農林施設等災害復旧	会計	一般会計	事業コード	220222	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成30(2018)年度											
	終了予定年度	平成31(2019)年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	■平成30年7月豪雨により被災した施設の復旧を行い、施設の設置目的の遂行を図る。 ■豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。							
	対象者			対象者数			単位あたりコスト		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	委託先・実施主体等								
	事業概要	平成30年7月豪雨により被災した大呂自然休養村センターキャンプ場及び隣接する親水公園の復旧工事を実施する。							
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目		具体的な内容			H30経費(見込値)			
	工事請負費		災害復旧工事			2,200			
関連事業									

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			0	0	
	②補正予算			5,500		
	③流充用額			367		
	④繰越額計			△ 3,667	3,667	
	前年度繰越			0	3,667	
	次年度繰越			△ 3,667	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			2,200	367	
	国支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	3,300	
	その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.2 / 0	0.2 / 0		
⑤概算人件費			1,600	1,600		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			3,800	5,267		
⑦執行額			2,200			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		災害復旧完了箇所数	箇所			0 / 1	/ 1	1
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		災害復旧実施箇所数	箇所			1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト					/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	被災した状態では施設を利用することができないため、施設の設置目的を遂行するためにも必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指定管理者による管理運営を適切に行うために必要な経費であり、基本協定及びリスク分担に基づき実施するものである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	災害復旧を実施することでキャンプ場の運営が再開でき、指定管理者の安定した運営継続を図ることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		キャンプ場の運営再開に向けて災害復旧工事の発注を行った。完成後は、施設利用者の満足度向上に繋がるとともに、指定管理者の安定した運営継続を図ることができる。	
今後の課題及び方向性		近年ではこれまで10年に一度、100年に一度と言われていた激甚な自然災害が毎年のように多発している。今後も災害発生時は迅速に対応できるよう準備しておく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課											
	作成責任者	大西 誠樹											
	事業名	非農用地造成事業											
	会計情報	款	事業費	項	宅地造成費	目	宅地造成事業費	会計	宅地造成	事業コード	530106	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する								
	開始年度	平成22(2010)年度											
	終了予定年度	平成32(2020)年度											
	関連計画等	戸田地区計画											
	根拠法令等	戸田地区非農用地造成事業 宅地分譲に関する要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	由良川改修事業に伴い集団移転先住宅用地を圃場整備事業区域内に確保・造成し、代替地として分譲、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備を図り、新しい「田園住区」を創出する。					
	対象者	区域内住民	対象者数	296	単位あたりコスト	79.2	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事業業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	畿北冷熱株式会社 (H30 戸田地区雨水排水ポンプ場保守点検業務)					
	事業概要	戸田造成地の環境整備と安全管理、及び残画地の販売を行う。					
		戸田水害訴訟(H31.3.7 石原水害訴訟第1次・第2次と併合)の対応を行う。					
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)
		前年度繰上充用金	前年度歳入歳出不足額の補填				18,853
		需用費	戸田地区雨水排水ポンプ場電気代				419
委託料		戸田地区雨水排水ポンプ場保守点検業務				194	
報償費		戸田地区造成地除草作業謝礼金				193	
旅費		戸田地区水害訴訟(京都地方裁判所)				112	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
①当初	22,500	22,600	22,400	23,200	
②補正予算	0	0	0	0	
③流充用額	0	0	0	0	
④繰越額計		0	0	0	
前年度繰越		0	0	0	
次年度繰越		0	0	0	
財源内訳(①③④内訳)					
一般財源	0	0	0	0	
国支出金	0	0	0	0	
府支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他特財	22,500	22,600	22,400	23,200	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.14/0	0.14/0	0.13 / 0	0.13 / 0	
⑤概算人件費	1,120	1,120	1,040	1,040	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	23,620	23,720	23,440	24,240	
⑦執行額	18,681	19,296	19,771		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	83%	85%	88.3%	0.0%	

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	残画地販売実績	区画	0 / 10	0 / 10	0 / 10	/	10
		0	0	0	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	残画地数(一般)	区画	8 / 8	8 / 8	8 / 8	/	0
		単位あたりコスト	1,868.1	1,929.6	1,977.1		
	残画地数(収用)	区画	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/	0
	単位あたりコスト	1,868.1	1,929.6	1,977.1			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	河川改修に伴い集団移転先用地を確保・造成し、地区計画を導入し代替地として分譲するものであり、市で取り組むべきものである。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	造成地の管理、安全確保及び残地売却のために必要最低限の費用を確保するものであり、妥当な水準である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	地域の環境美化、浸水被害の防止に役立っており、きわめて有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		残画地の販売について進める必要があるが、戸田地区における水害訴訟もあり、現在は環境整備、安全管理のみ行っている状況である。管理している雨水排水ポンプについては有効に機能しており、平成30年7月豪雨の際にも戸田地区の浸水被害を防止できている。	
今後の課題及び方向性		現在、市を被告として戸田地区造成地内住民より水害に対する責任を問う訴えが出されており、係争中である。平成31年度中に決着の予定。裁判の結果によるが、平成31年度中に土地鑑定評価を行い価格を改定、残画地の販売を進め、早期の特会閉鎖を目指す必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】